



登り窯



展示室外観



器たち



窯印



朝鮮唐津



展示室内



矢野 直人
Naoto Yano

1976年唐津生まれ。父、祖父の影響で唐津焼の世界へ。名護屋にて作陶。

- 駐車場 (5~10台)
- 作業風景見学
- 体験教室
- 要連絡

窯印・作家印▶

トノヤマ 殿山窯



日本各地および韓国で彫刻や陶芸を学んだ。古い物に魅力を感じていて、彼が作る唐津焼のお手本は古唐津だ。唐津焼は種類も多く本物志向で、本質を追究したくなる魅力があるという。唐津焼に対する揺らぎない目標・迷いのない思いが矢野さんの作陶を支え、その意識の高さが作品1つ1つに表れている。

「茶道や侘び寂びといった日本の伝統的な美意識に触れる中で、唐津焼のを見て使っていたら、先人が築いてきた古の日本文化・唐津焼に対する尊敬の念が伝わってくる。彼にとつての唐津焼は、日本の本物の豊かさに近づくアプローチなのだ。」

本物志向と日本文化へのオマージュ。